

適切なワイヤ径の選定方法

- ①振れ止めから振れ止めの間の荷重を算出下さい。
- ②その荷重に合わせて、適切なワイヤ径を選定頂けます。

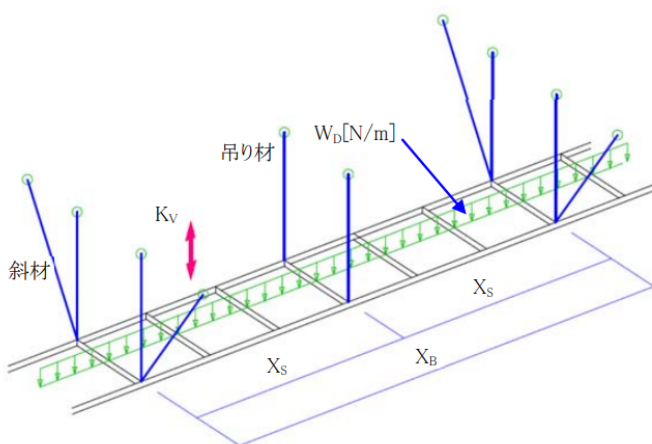
*例えば、添付の資料で説明致しますと振れ止めから振れ止めの間の荷重=XBとし、荷重が100kgの場合。

ワイヤ許容荷重表を見て、100kgに耐えうる耐力を持つワイヤを選定頂ければ適切なサイズを簡単にお選び頂けます。つまり、この場合は3mmφ以上のワイヤが適切となります。

適切なワイヤ径の選定方法

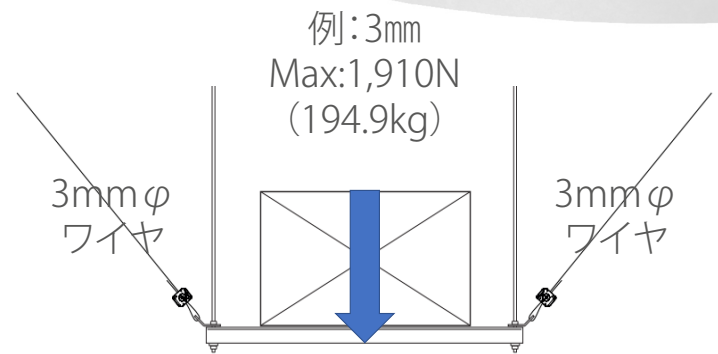
ワイヤの選定:考え方

振れ止め一か所辺りの機器の重量でワイヤサイズを選定



W_D : 被支持材の単位長さ当たりの重量[N/m]

X_S : 吊り材の配置間隔 (負担する被支持材の長さ) [m]



ワイヤ呼び径	ストランドの構成	設計荷重(N)	許容重量(N)
2 mm	7×7	2,205 (225kg)	780 (79.6kg)
3 mm	7×7	4,410 (450kg)	1,910 (194.9kg)
4.75 mm	7×19	11,025 (1,125kg)	3,030 (309.2kg)
6 mm	7×19	15,925 (1,625kg)	4,120 (420.4kg)

出展元:BCJ評定-SS042-01「グリップルワイヤシステム・耐震振れ止め工法」より抜粋